

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@rinya.maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp)



四国山の日

No.1100 2011年11月号

## 「四国の森づくりinかがわ」

～元気な森を四国の森からとどけよう!～

【関連記事2頁】



四国の森づくり実行委員会実行委員長あいさつ（愛媛大学鶴見教授）



四国山の日賞表彰式

【表彰者：四国林政連絡協議会会長（新木四国森林管理局長）】



2011・国際森林年

「四国の森づくりinかがわ」開催

〈指導普及課〉



一〇月二十九日、三〇日の両日、香川県高松市を中心に、四国の森づくり実行委員会、四国の森づくりinかがわ実行委員会主催による、「四国のもりづくりinかがわ」元氣な森を 四国の森からとどけよう！」をテーマに開催されました。

このイベントは、森林の持つ多面的機能を発揮させるため、森林整備、木材利用や森林環境教育活動を地域住民やボランティア、関係機関等と連携・協力して取り組むこととして、平成一六年度に四国四県と四国森林管理局により行った「四国の森づくりに関する共同



四国山の日賞受賞の皆様

初日は、「四国山の日賞」の表彰式を行い、続いて、地元小学校や里山オーナー、企業の森づくりの取組と、平成二三年度四国山の日賞を受賞した各県代表による森づく

り活動の報告を行い、最後に京都大学フィールド科学教育研究センター長の柴田昌三教授の「私たちの身の回りにおける森からの恵みを考える」と題した講演で一日目は終了しました。

二日目は、香川県内の木材加工施設やボランティアにより整備中の森林などを見学する「香川県産木材利用」「竹林整備と宝



分科会（座談会）

山湖見学」「ドングリランド祭参加」「座談会」の四分科会に別れ実施しました。当日は少し天候が悪かったですが、参加者間

の交流を深めつつ施設を見学し、二日間を終えることが出来ました。来年は、高知県で開催する予定です。

木が育むあなたの暮らし

『高知もくもくランド』開催

〈指導普及課〉



第七回高知もくもくランド2011秋まつりが、高知県と高知県木材普及推進協会の主催で高知市仁井田の協同組合「高知木材センター」で一〇月二二・二三日の両日、二日間にわたり開催されました。

オープニングセレモニーでは、新木四国森林管理局長をはじめ主催者及び関係者が丸太カットをしてスタートしました。



オープニング丸太カット

高知県産材の普及を目的に開催されたこの催しには、木造住宅の設計士、工務店、木材店、太陽光発電などエコ製品などを扱う様々な業種の企業等が五六ブース出展しました。

また、住宅相談や、地震対策、リフォーム相談など、木材を使った建築に関する総合的な相談会場にもなっています。

四国森林管理局も、木材の良さをPRするパネル展示と、一日目の間伐材の板を糸ノコでくり抜いたハロウィン・クリスマス・正月壁飾り、カエルのストラップづくりの木工と、二日目の木のおもちゃで遊ぶ射的大会で参加しました。

今年も開会前から親子連れの行列が夕方まで続き大忙しでしたが、綺麗



四国森林管理局のブースの様子

に完成した作品を手に喜ぶ親子の笑顔に癒やされました。

また、今年は、三月の大震災以来、関心が高い、耐震診断に関する相談や、「南海大震災に向けての取組」などの講演などが行われ、来場者も興味深げに聞き入っていました。

初日は中止も検討されるほどの大雨でしたが、二日目は快晴と持ち直し、一万人程（主催者推計）の来場があり、各出展ブー

スも賑わって木材の良さをアピール出来たのではないかと思います。

「古事の森」

〜次世代へ森づくり活動〜

〈指導普及課〉



伊予之二名島古事の森

育成協議会は、松山城、道後温泉など木の文化の象徴する伝統的木造建造物の修復材確保を目的に「伊予之二名島古事の森」の

協定を平成一九年度に四国森林管理局との間で締結しており、この協定に基づき五回目の森づくり活動が一〇月一五日、愛媛県久万高原町（石鎚山系の中腹）のサル谷山国有林で、一般公募による総勢二〇名の参加により実施されました。

作業前に、伊予之二名島古事の森育成協議会長

の江崎次夫愛媛大学教授か

ら、「伝統的木造建造物と、次世代に引き継がれるべき文化財の保存と存続に不可欠な資材を確保するため

の有意義な作業であり、国際森林年である今年こそ森を歩き森の恩恵を感じてください。」との挨拶があり、作業に取りかかりました。

森づくり作業は、森林管理のための歩道の修理と、植栽木の生育確認及び補植

箇所の手りだしを行いました。



刈出し作業

昨年、イノシシの被害とみられる根元の掘り返し被害を修復したことにより、転倒の修復作業は少なく、ほとんどが転倒の点検のみで済み、全体作業も予定より早く終了しました。

この古事の森は、まだ、手入れが必要であり、森林ボランティア活動を今後も継続することを誓い解散しました。



紙芝居「森」

は、事前に準備した木の枝の輪切りの中から各自が顔・目・鼻・口・耳などのパーツになるものを選んでボードで貼り合わせ、「クマ」「う

らった後、クラフト作りに取りかかりました。

一・二年生に「人工林を作ったらしいから、木の利用を考えた森林や自然環境への興味に繋がることを願っています。」

なお、今回は環境省土佐清水自然保護管事務所から二名の職員が当ふれあいセンターの取組に深い関心をもって見学に見えていました。

その中で、今年九月に紀伊半島を襲った台風一二号の降水量は、奈良県上北山では三日間で一、六五一ミリメートル、これを教室に貯めると大人の身長程の深さになることや、昨年、一

また、サクラの枝などを使った「木工クラフト」では、お父さん、お母さんに交じり、おじいちゃんやおばあちゃんの参加もあり、汗を拭きながら仲良く工作する微笑ましい光景が見られました。

# 各地のたより



さぎ」などのストラップが完成しました。

## 「木工クラフト」 「ふれあいセンター」

九月二十九日、土佐清水市立幡陽小学校で、一〜四年生一七名を対象に、木工

ラフトを実施しました。はじめに、動物達と人間が「森林の大切さ」「素晴らしさ」とそれを守り育てる内容の紙芝居「森」を上映し、森林は大切なものであることなどを理解してもらった後、クラフト作りに取りかかりました。

児童からの感想文には、「人工林を作ったらしいから、木の利用を考えた森林や自然環境への興味に繋がることを願っています。」

一〇月一四日、四万十市立中村南小学校の四年生二六名を対象に、参観日に合わせた森林教室を行いました。同校での森林教室は初めてのことで、最初にスライドで当センターの活動内容と「森林のはたらき」について説明しました。

また、今回、短期間の大雨で山が崩れ「土砂ダム」ができたが、もしこの山に樹木などが生えていなくて裸地であったなら、もっと大きな山崩れが発生していたであろうことなどを説明しました。すると、子ども達

## ふれあい木工クラフト 「ふれあいセンター」

年間の学校周辺（四万十市中村）の降水量は二、九九三ミリメートルだったことなどを説明しました。



保護者も真剣に



ふれあいの場ともなった初めての森林教室は、保護者も大変喜ばれていたとのこと、先生からは、早速、今後の森林教室について相談されました。



森林整備に参加の方々

前回に引き続き針広混交林に誘導するためブナ、ヤマボウシ、ヒメシヤラの植栽を行いました。まず、三谷署長の挨拶の後、作業手順を確認し、それぞれ作業

が参加して、ボランティアとの協働で森林の整備を進めることを通じて、森林の持つ度発揮や市民の理解と協力が進むように取り組んでいきたいと考えています。



樹木プロテクターの設置

一〇月二六日、釜ヶ谷一〇三林班の「ふれあい高城の森」で(社)高知林業土木協会のボランティア活動が行われました。

当日は、協会から一三名と当署から署長、木頭森林官、森林ふれあい係長

が参加して、ボランティアとの協働で森林の整備を進めることを通じて、森林の持つ度発揮や市民の理解と協力が進むように取り組んでいきたいと考えています。

ふれあい高城の森で  
ボランティア活動  
〈徳島森林管理署〉

ふれあい高城の森(四・五九ha)は、平成一五年に高知林業土木協会「四国の森づくりに参加する会」と協定を締結し、以来、間伐や広葉樹の植栽など、毎年二回、森林整備を実施しています。

に取りかかりました。当日もニホンジカの鳴き声が聞こえるなど、この付近でもニホンジカが増加しており、植栽木には樹木プロテクターの設置が欠かせません。参加者は、気温の低い中、汗を流しながら、約二時間かけて五〇本の広葉樹を植え込みました。



一〇月二二日、佐喜浜の源木を育てる会（会長田村拓氏）と安芸森林管理署が協力し、公募で選ばれた三八名が参加して、天然杉の名札の製作、森林体感ツアーを楽しみました。

当日は、室戸市の職員、高知県森と緑の会の職員もスタッフとして参加されました。はじめに体育館でグループに別れてそれぞれの思いを込めて楽しく名札を製作しました。

岩佐の関所  
段ノ谷山登山  
天然スギの名札製作と  
森林体感ツアー  
〈安芸森林管理署〉

天候が心配されましたが小雨になり、予定どおり岩佐の関所目指して、登山を開始し、岩佐の関所では、地元歴史研究家の方より史跡について詳しい説明を受けました。また、登山途中では、樹木医の野島氏より樹木について説明を受け、職員の「森に関わる話」を



天然杉の名札

聞いたりして、小雨の中を楽しく歩き、段ノ谷天然杉と遭遇しました。参加者は、天然杉の雄大さや個性ある表情に感嘆し、来て良かったと感想を述べていました。今回は足元の悪い中での登山でしたが、今度は、もう一度晴れの時に来たいとの声が多く聞かれました。参加者・スタッフ一同楽しい一日を過ごしました。



職員による森に関わる話